

祝 辞

本日ここに学位を取得し卒業をされた53名の方々、大学院・教養講座を修了された3名の皆様、誠におめでとうございます。晴れてこの日を迎えられることに、鷹陵同窓会を代表して心よりお祝いを申し上げます。

本日の卒業・修了を迎えられる迄の長い間、皆さんの学業と研究活動を支えてこられた先生方、御家族・職場の方々の御支援・協力に対し改めて敬意を表したいと存じます。

この度、卒業を迎え、皆さんの一人ひとりの胸のなかには、様々な思い出が去来しているのではないのでしょうか。入学を志した日から今日まで、多くの喜びや苦しみなど心穏やかでない日々も多かった事とお察しいたします。

特に本年は、全世界を巻き込んだ感染症が猛威を振るい、未だ収束の糸口さえ見いだせない状況であり、それを乗り越えての卒業には感慨もひとしおの事と存じます。

この感染症の蔓延により、経済や社会が大きく影響を受け、私達を取り巻く環境も大きく変わらざるを得なくなり、価値観・倫理観さえ揺さぶられ、混迷の度を深めつつあります。

このような時代を生きるからこそ、佛教大学の卒業生としての更なる自覚を持ち、それぞれの場で学んだことを生かし、活躍される事を希望いたします。

私達が学んだ佛教大学通信教育の精神は、法然上人が遠く離れた地方に住む弟子や信徒に対して教えを伝えた、御消息と云う手紙にあると伺っております。この精神を受け継ぐ、伝統有る佛教大学の卒業生であることは、私たちにとって大きな誇りであります。

本日、皆様が手にした卒業証書は、学業成就の証であると同時に、そこに込められた法然上人の精神をもって、私たちと大学を繋ぐ絆となります。

私達の鷹陵同窓会は、昭和31年に第一期生の有志により立ち上げられ、日本国内に支部を置き、現在、2万人以上の同窓会員を擁し、在学生との交流も図り、研修会、講演会を実施し、地域を跨いでの活動も活発に行われています。

同窓会とは不思議なもので、佛教大学の卒業生というだけで旧知のような仲になってしまいます、私自身同窓会は、成長と心の拠り所の間と思っております、先輩や多くの仲間との交流によって、思わぬ人脈が広がり自身の成長に大いに役立っていると感じています。

卒業・修了された皆様方には、是非とも鷹陵同窓会に入会して頂き、在学生との橋渡し役として、今後とも御縁をいただければ幸いです。

『心のふるさと佛教大学』で皆様方と又、お会いできる事を期待しております。

最後になりましたが、私どもが学んだ佛教大学の益々のご発展を願って、お祝いの言葉といたします。

令和2年9月27日

佛教大学鷹陵同窓会 会長 河田 茂美